

## < 8月第1例会議事録 >

会長 藤井久子



・日時：2016年8月18日（木）

19:00~21:00

・場所：西神戸YMCA

・出席者：合田、佐伯、館、達、  
田辺、丹家、中村、西田、野呂、檜木、藤井  
(メネット) 合田、佐伯、宗利

強調月間：(活動) Youth Activities

(ステートメント) ユースに国境を越えた友情を体験する機会を提供し平和な世界を築きましょう！

### 1. 開会式

・開会点鐘：会長、ワイズソング斉唱：全員、今月の聖句朗読：会長、8月誕生日お祝い：館 忠之 (8/25)、杉本裕子 (8/27)

### 2. スピーチ：西田 勉氏 (西神戸YMCA館長、

連絡主事)「生きにくい世の中を生き抜く若者たち」  
・最近の若者は…1200年前の法隆寺の落書き、紀元前800年哲学者プラトンの記録、5000年前のエジプトの遺跡の象形文字にも「最近の若者はなっていない…云々」の記載がある。

・今の若者は…

- ①ありのままの自分を受け入れて欲しい
- ②自尊心は強いが失敗を恐れて行動しない
- ③感受性に乏しく、気配りや心配りができない
- ④叱られることやプレッシャーに弱い…つまづくと立ち上がれない
- ⑤出世に関心がない
- ⑥常識言葉を知らない…御中が want you になる

・最近の若者の育て方…

- ①本音を言える信頼関係を作る
- ②褒めて小さな達成感を積み上げる(声をかける)
- ③考えさせるが、意思決定できるようにサポートする(小さい子供の教育と同様の手間をかける)

・最近の若い男は…

- ① そもそも男の子は女の子に比べて育て難
- ② 最近の母親が求める『男の子像』は優しくて思いやりのある子。それは実は母親が理想とする男性像でもある。

※女の子は生まれながらにしてコミュニケーション能力に長け社交的。

男の子はそれらを実体験での失敗や挫折からしか学べない。そのような経験を積ませることが大切。

・最近の母親は…

- ① 赤ちゃんと何を話したら良いのか悩む…効率と結果ばかりが優先される世の中で育った弊害か。一見意味が無いような行動が出来ない。心に余裕が無い。か
- ② その結果、スマホに赤ちゃんの相手をさせる(子守)

### 3. 今期のEMC事業について

野呂 隆 六甲部EMC事業主査

・今期の理事のEMC計画

- ①例会の充実
- ② エクステンションにチャレンジ
- ③ ワイズの奨励像などの構想を練る

・六甲部EMC活動…交流を深め、活動の楽しさを実感

・各クラブで特色のある奉仕活動の開発

・各クラブの活性化対策の意見交換(第2回評議会)

・クラブ委員として…ワイズメ ンズクラブの知名度向上を図る

- ①のぼり旗、リーフレット、手作りチラシ
- ②ワイワイまつり、募金活動等で活動のPR

### 4. 協議事項

(1) 2015~2016年会計報告：承認された

(2) 2017~2018年次期クラブ・六甲部体制について…次回へ

(3) 11月12日六甲部会によるクラブの出し物について…なし

### 5. 9~10月行事

・9/1(木) 第二例会、9/15(木) 第一例会、

9/30(金) チャリティーワイン

10/1(土) 六甲部ローンボール大会(しあわせの村)、10/6(木) 第二例会、10/22(土) ワイワイまつり(第一例会)…餅つき40kg

10/22(土)23(日) 次期役員研修会(ホテルク

準備する物：プロジェクター、パソコン（パワーポイント2013）

## < 9月第二例会議事録 >

会長 藤井久子

- ・日時：2016年9月1日（木曜）19：00～21：00
- ・場所：西神戸YMCA
- ・出席者：合田、佐伯、館、達、田辺、丹家、中村、西田、野呂、檜木、藤井

### 1. 報告事項

#### (1) 各部会予定

8/28（日）中部部会（終了）藤井参加済、9/3（土）中西部部会 藤井参加予定、9/4（日）阪和部部会、9/11（日）京都部部会、北京都フロンティアクラブチャーターナイト 藤井参加予定、10/2（日）九州部部会 藤井参加予定、10/15（土）瀬戸山陰部会、10/29（土）西中国部会、  
・11/12（土）・六甲部部会：参加予定：佐伯、館、中村、野呂、藤井（9/1現在）

(2) チャリティーワインの会（9月30日）参加予定：合田、中村、檜木

(3) 六甲部交流ローンボール大会（込み9/15締切）

- ・日時：10月1日（土）9時～17時
- ・於：しあわせの村 ローンボール場
- ・参加費（競技）：1人500円
- ・参加者（競技）：中村、杉本、（応援）：藤井

(4) 六甲部部会クラブ紹介について

- ・交流 IBC（高雄ポート）2年に1回交流（食事・観光）、メール・郵便にて適宜…参加者4・5名
- DBC（東京武蔵野多摩）互いにクラブ例会訪問・食事・観光など…参加者5・6名

・奉仕活動 西神戸YMCA ワイワイまつり（バザー）…お餅つき

ちとせ幼稚園・西神戸YMCA 幼稚園（バザー）

…物品販売やゲーム

チャリティーラン…お餅つき

学園都市夏祭り…体組成・握力測定、奉仕先：学園都市地域自治会

ゆとり作業所…支援金（クラブ、各メンバー）

(5) 9月第1例会 スピーチ：井之上温代元びわ

・東京武蔵野多摩クラブの石丸由理ワイズが交流に来られます。藤井が石丸ワイズと連絡を取り、当日・翌日の動きをメンバーに連絡する。

(6) 全国リーダー研修会支援金：本日手渡済

10,000円の予算でしたが要請が20,000円でしたので、本日参加者で可決承認された。

### 2. 協議事項

(1) 次期クラブ・六甲部役員体制について

杉本次期部長欠席のため10月事務例会で協議す。

(2) 行事予定

- ・10月6日（木）：10月の事務例会
- ・10月22日（土）：10月第1例会（ワイワイまつり）
- ・10月27日（木）：11月の事務例会

(3) 餅つきの量はワイワイまつり40kg、チャリティーランも40kgとする。

(4) ジャガイモファンドは北海道の天候不良により金額高騰の可能性が高く、場合によっては中止する。9月15日の第1例会にて判断する。

### 3. その他報告事項等

(1) YMCAより

- ・チャリティーランで、高等学院の生徒のグループラン（学園ワイズの代走）の参加費を支援する。
- ・12月17日（土）クリスマス祝会？
- ・西神戸YMCA 幼稚園バザー … 11月19日（土）
- ・YMCA セミナー…11月26日（土）13～16時

## < 大自然と歴史の交響曲スロヴェニア・クロアチアハイライト9 (2/? ) >

丹家元陽 メン

（前号よりの続き）

2015年8月17日（月）

今朝も小雨。気温18℃。おいしい朝食後、AM8:00 ホテルを出発しリュブリャーナ市内観光へ。

市の中央広場にはいかにも新鮮そうな野菜を並べた八百屋さん、色とりどりの果物をてんこ盛りした果物屋さん。ハム、ソーセージ、牛肉、豚肉、鶏肉を並べた肉屋さん。



んは、その横のリュブリャニツァ川沿いの建物の中に軒を連ね、次の建物には魚屋さんが連なりと実に楽しい。

更に川沿いに歩くと新市街と旧市街を結ぶ三本橋、その先には竜の橋がある。竜はリュブリャーナ市の象徴で、両端の左右、計4匹で橋を守っている。この近くにあるサンフランシスコ教会は17世紀中頃に建てられ、入口の扉の彫刻が素晴らしいが朝のミサ中の為入れず残念。

小さな街なので30分のフリータイムの間にガイドさんに紹介されたのが市庁舎横にある塩製品の店。アドリア海で取れた塩にハーブとかの色々な香辛料を加えた一品をゲット。中にはすぐ近くの蜂蜜屋さん(スロヴェニアは蜂蜜も有名)で試食させてもらい、仕入れるメンバーも居た。いずれにしてもこの辺は瓶入りの重たい土産物が多いのが難点。

市庁舎横の道を歩くとすぐにケーブルカー乗場に着く。我々一行20人が乗れば一杯になり3~4分で約100mの高台にあるリュブリャーナ城へ。1144年に造られ、その後この地の支配の争いに翻弄され一時はハプスブルク家に継承されるも、16世紀の大地震で大部分が壊れた後に改築され、今は市民の結婚式場としても使われているという。ここからは手前の旧市街から、その向うの新市街まで一望され、旧ユーゴスラビアを統一した英雄チト大統領が亡くなられた病院も眼下に。

AM11頃バスに乗り、次の目的地 Croatia の首都 Zagreb まで 140km、約2時間半のドライブ。緑豊かな田園地帯を一路東へ。途中の国境はバスを降り、徒歩で約20m 歩き、又バスに乗って通過。このクロアチアは九州の1.5倍の広さに人口430万人。クロアチア人約90%、セルビア人約5%。

そして、ここザグレブは人口80万人。昼の気温23℃。早速レストランで昼食。例の如くビールで喉を洗い、少し塩味の効いたクレープをつまむ。前菜はザグレブ風スープ(マッシュルーム、ベーコン、ポテト)に少しトマト風味で美味。メインはザグレブ風ステーキ(少し薄切りの豚肉にチーズを乗せ、くるくると巻きパン粉を付けてフライしたもので、これが又、ビールと白ワインに合う事この上なし。デザートはラズベリーをたっぷり乗せたチーズケーキに大満足。

エネルギー補給をした後は、さあ観光。まず坂を少し登った丘にある聖母被昇天大聖堂へ。13~18世紀に建て

られザグレブのシンボルといわれ、両側の尖塔は100m以上あり非常に美しい。今は右の尖塔の洗浄作業が進んでいる。中はルネッサンス様式の祭壇やバロック様式の説教壇があり、周りのステンドグラスが美しい。

この大聖堂の前の広場を少し下ると「サグレブの胃袋」と呼ばれる青果市場がある。数十軒の屋台が並び、地元で採れた新鮮な野菜や果物、チーズ、蜂蜜、日用品、服等売っている。ヨーロッパではこのマルシェ文化が大切にされていて、見て回るのが本当に楽しい。日本のスーパーでの会話のない買物の味気無さが寂しい。

ここで試食した生無花果。大きさはゴルフボールより少し大きめ。表面はまだ緑のまま。これで熟してるのか半信半疑。皮のまま食べるのだが、その味の素晴らしい事。ネットリ甘くて真にジューシー。時々乾燥無花果を生ハムと頂く時に、その甘さに感激するのだが、これで納得!この近くには、色取り取りの花を揃えた花市場もあり、いい香りに満ちている。

そして一番賑やかな通りの中心にあるイエラチッチ広場に出て来た。ここでまず、小遣いが必要なので円をクロアチア通貨のKN(クーナ)に両替。クーナとは小熊のような動物の名前で、その昔この毛皮を使って物々交換していた所からお金の単位になったとの事。

ここからトラムの走るイリツァ通りを西に約200m。ここで世界一短いと言われるケーブルカー高低差20mで登った所には、クロアチアの中枢機関がある。しかしその手前の左手にナイーブアート美術館、右手には有名な失恋美術館があるのがおもしろい。ここは個人経営だが収蔵品の仕入れ値は0。世界中から失恋した人がそれにまつわる品々を腹いせまぎれに送ってくるとの事。中には大きな斧を壁に打ち込んだものもある。入れなかったのが残念。ちなみにこの経営者は元夫婦。しかし別れた後も一緒に仕事をしているのも一興。

その先に見えてくるのが聖マルコ教会。小さな教会だが正面から見える屋根には向かって左に大きくクロアチア王国の紋章、右にはザグレブ市の紋章が美しい。この教会の左側が首相官邸、右には国会議事堂がこじんまりと建っている。ここを右に下るとすぐに石の門に着く。その昔、敵の侵入を防ぐ為の城壁にあった門の1つで、中には聖母マリアの肖像が収められた小さな礼拝堂がある。

そして又、イェラチッチ広場に戻り、すぐ近くのホテルにチェックイン後、夕食までは自由時間。早速 Croata 本店に行く人もあり。クロアチアは知る人ぞ知るネクタイ発祥の地。その昔、戦場に行く夫に無事に帰って来られるようにとの願いを込めて、自分のスカーフを夫の首に巻いて送り出したのが始まりという。普段ネクタイに用のない私はパス。そろそろ何か土産物を探さねばと近くのスーパーマーケットに行ってみる。更にホテル近くのクロアチアを代表するチョコレート屋さん(クラシュ)に行き、一袋買って味見。

今夜の夕食はチョイスメニュー、前菜に生ハムを選んだ。大切りの生ハム 10 数枚にオリーブ添えに感激。しかし、少し塩辛いのでビールが進み過ぎる。メインは七面鳥のメダイオン。七面鳥の胸肉をソテーしてたっぷりのタルタルソースで頂く。これは絶品で白ワインが進む。家内のチョイスは、パルメザンの平打パスタが日本の一人前より多目。それにメインはスズキ丸ごとのグリルで、これも絶妙な塩味とオリーブオイル焼きで美味。お互いシェアしながら完食。デザートはフルーツ入りのアイスクリーム。又はクレープ。これも大量、途中でギブアップが残念。とにかく、クロアチア料理は一人前が多い。

2015年8月18日(火)

今朝は晴。ゆったりとした朝食後、出発までの時間にもう一度聖母昇天大聖堂に入り、誰も居ない静寂を楽しむ。そして、早くから店を出している青空市場を散策しチョコレート店でお目当ての土産物を仕入れた。今日の午前中はプリトヴィツェ湖群国立公園までの移動。ザグレブから南へ約 140km、2時間半の予定。

緑豊かな田園風景の道を走っている途中で、運転手さんが是非立ち寄り欲しい所があるという。戦争博物館だ。博物館といっても道の横の原っぱ。縦、横、約 100m 四方にセルビアとの戦争で壊された家と共に、その時使われた装甲車、戦火で変色した戦車、撃ち落とされた戦闘機等が展示してある。この周辺の家はほとんどがその戦争後に改築されているが、所々の家の壁には当時の弾丸の跡が無数に残っている。

ここで旧ユーゴスラビアの歴史に触れておかねばならない。ユーゴスラビアはヨーロッパの南東部に位置し、南スラブ人の住む国という意味。国土はバルカン半島西

部の大半を占める。北西はイタリア、北はオーストリアとハンガリー、北東はルーマニア、東はブルガリア、南はギリシャとアルバニアに接し約 25.5 万平方キロと日本より少し狭い。ボスニア・ヘルツェゴビナ、モンテネグロ、クロアチア、マケドニア、セルビア、スロヴェニアの六社会主義共和国とセルビア国内のボイボディナ、コソボの二自治州からなる社会主義連邦共和国で、首都はセルビアのベオグラード。

位置的にヨーロッパ大陸の中央にあるのでアルプス型、地中海型、アジア型の混血が多く、背は高く特に女性は美人が多い。この地理的な状況からドイツ、ヒトラーは 1941 年ユーゴにも進軍し戦いに入る。ヨーロッパでの第二次世界大戦。そして当時のレジスタンス運動の 1 つであるパルチザン軍は、ナチスドイツから次々と国土を解放した。大戦後、東の共産主義国と NATO を組織する西側との間で色々な紆余曲折を経てなんとかこの共和国をまとめていたのがパルチザン軍指導者チトー大統領である。

1980 年このカリスマ指導者チトー没後、六共和国の集団指導制に移行するが誰も決定的な判断をする指導者が居なくなり、政治は混乱する。その後経済不況が続いたのが原因でしょうが、一説にはサッカー場でのサポーターのケンカが発端とも言われているユーゴ内戦が勃発したのが 1991 年。その後、約 5 年間サラエボ、コソボ等の名前が連日新聞に載る事になる。少しずつ民族が違うがほぼ同胞同士の全く無意味な戦い。その後、分裂し 6 つの独立国家となった。

そこで現地ガイドさんに聞いてみた。「将来もう一度統一国家になる可能性はありますか?」「絶対にない!」と即座に答えが返ってきた。更にバスは南下すると共に少しずつ山の中に入っていく。

そして、その途中のレストランでの昼食に。駐車場の周りには、紫色に熟したスモモが枝に鈴生り。1 つ試食した。甘酸っぱい香りが口中に広がる。前菜はクロアチア定番のマッシュルーム入りクリームスープで胃が温かくなり、食欲が更に刺激される。勿論ビールは欠かせない。メインは子牛のペカ。ダルマチア地方独特の料理で子牛の肉を鉄鍋に入れて蒸し焼きにする。これにはワインが必須。更にたっぷりのポテト。そしてレタス、トマト、キャベツ、赤キャベツがいっぱい盛られたサラダも付く。デ

ザートは迫力満点のアップルパイ。さすがに大量なので少し残さざるを得なくなり、シェフに申し訳ない限り。

更にバスに揺られて30分。ホテル「イェゼロ」着。このホテルはプリトヴィツェ湖群国立公園(クロアチアに6つある国立公園の中で唯一世界遺産に指定されている)の入口にある。ここから階段を下りコズイヤク湖の船着き場へ。ここは大勢の人が集まっており、約30分待ちで、わずか200m先の対岸へ電動船で渡る。さらにそこでも30分待ちで、約100人乗りの電動船で下流の船着き場まで約20分。

周りの緑は美しく湖畔の両側の遊歩道にも大勢の人々が散歩している。この湖畔は大小16の湖と92ヶ所の滝をもち、標高639mの湖から150mの湖まで階段状に結ばれている。そして、上流の方は上湖群、下流の方は下湖群と呼ばれていて、今から下湖群のハイライトのハイキング。道といっても巾15cm長さ1.5mの木が並べてある。対向者が来るとゆっくり擦れ違わないと、きれい

な湖に落ちてしまう。湖の色はその深さによってライトブルーからコバルトブルー、ダークブルーと変化して本当に美しい。そこには無数の小魚が戯れている。形から見て山女のように見えるのだが、ガイドさんは鯉という。次の湖に移る所には、小さい滝が連続し、そして最後の湖にはプリトヴィツェ川とコロナ川が合流し、高さ78mの所から幾筋もの滝が流れ落ちる様は美しいの一言。この地方は雨が多いので雨具は必須と言われていたが、いい天气に恵まれ約1時間半のハイキングの終了。

いい運動の後は、お腹も空く。夕食はいつものビールで喉を洗い、前菜は鱒の一匹丸ごとのムニエル。玉ネギのライス、人参の千切りの乗った鱈の南蛮漬け風味で、これもありと納得。メインはヨーロッパではよく食べられているタラのフライでこれも美味。白ワインの登場で大満足。デザートはアイスクリームで夜は更ける。外気温20℃。このホテルはヒーターのみクーラーなし。

(次号に続く)

## < 今月の聖句 >

### 私はブドウの木、あなたがたはその枝である

(ヨハネによる福音書15章1～5節)

わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。わたしにつながっているながら実を結ばない枝はみな、父が取り除かれる。しかし、実を結ぶものはみな、いよいよ豊かに実を結ぶように手入れをなさる。

わたしの話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている。わたしにつながっていないさい。わたしもあなたがたにつながっている。

ぶどうの枝が、木につながっていないければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながっていないければ、実を結ぶことができない。

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。

ブドウの木はパレスチナで一番背の低い木とされ、見栄えがしない。しかし、ブドウの枝は棚であれ石垣であれ、そばにあるものにどンドン這って伸び、甘い実をつける。イエスは何度も弟子たちに「私はブドウの木、あなたがたはその枝である」「私につながっていないさい」と説いている。

「豊かに実を結ぶ」というのは、社会で功績をあげたり成功することではなく、一人ひとりが与えられた命を精一杯に生かすこと。枝や葉は幹につながっているから水分や養分を受けて成長することができるように、それぞれの力や能力を伸ばし、それを役立てるには心の養分が必要になる。それにはブドウの木(イエス)につながっていないさいと説いた。

～『声に出して読みたい新約聖書』齋藤孝著、草思社 より～